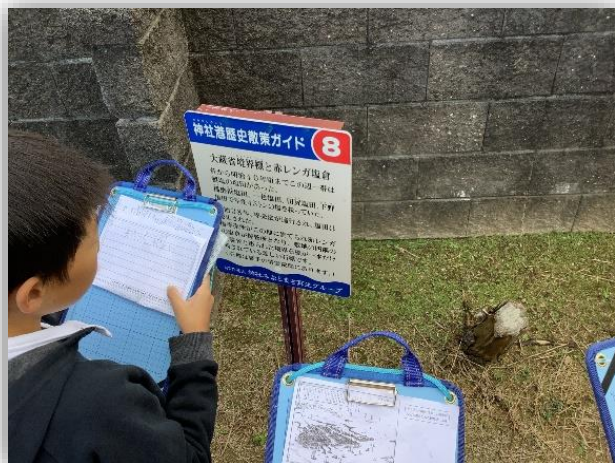


市制 20 周年記念



私たちの海と町



みなと小学校

令和 6 年度 4 年生の取組

伊勢の海を守る



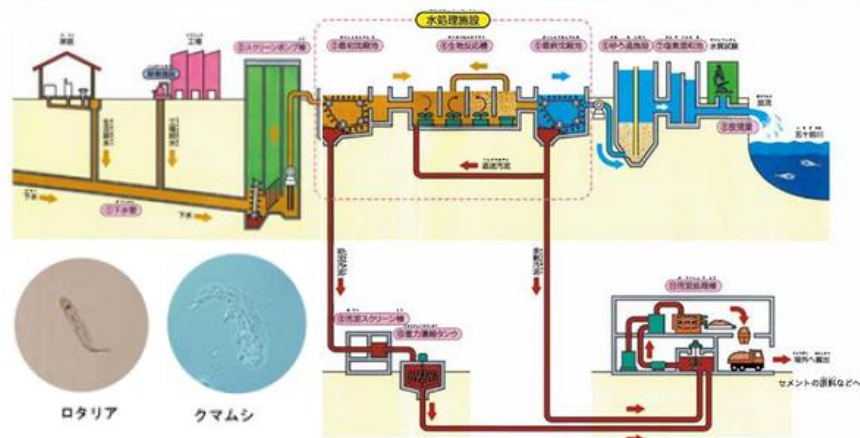
宮川浄化センター（おおみなと大湊）

伊勢の海がきれいなのは、宮川浄化センターのおかげです。水が汚いと、海や川に住む魚が生きていけないだけでなく、夏に海で遊ぶこともできなくなるかもしれません。わたしたちが暮らしているみなと小学校校区には、勢田川や鷺ヶ浜があります。これからも、きれいな伊勢の海を守っていくために、宮川浄化センターは、とても大切な施設です。

宮川浄化センターは、約1日かけてきれいな水にして、五十鈴川へ放流しています。汚れた水をきれいな飲める水にしています。宮川浄化センターには、様々な建物があり、微生物がゴミを食べて水をきれいにしてくれています

宮川浄化センター

宮川浄化センターでは、毎日24時間、安全な水を届けるために設備をかんしてくれています。そのためには、交代をする必要があります。なので、1人で管理するのではなく、複数人で管理します。



宮川浄化センターをこれからも残すためにわたしたちにできることは、できるだけ使う水を減らす努力をすることや、油や生ゴミを分別することです。そして1番大切なのは、浄化センターの大切さを伝えていくことだと思います。

みなと小学校の4年生は、毎年宮川浄化センターに見学に行きます。そして、「水をきれいにすることの大切さ」について学習します。これからも、わたしたちの大切な伊勢の自然を守っていききたいと思います。

神社港の歴史や文化

海の駅の歴史

昔から船で伊勢湾を渡り、伊勢に来る参宮客は多く、伊勢では参宮客に親しみを込めてどんどこさんと呼び、歓迎していました。その後、伊勢の海の玄関口として大いに賑わいました。明治時代、定期船（熱田港～神社港）が開かれてからは各地からの参宮客が殺到し、黄金時代を迎え大いに栄えました。そんな海の駅は神社港にあります。ぜひ、おこしてください。



ここは、清雲院という場所で、徳川家康のお墓として作られました。



これが勢田川にある『みずき号』です。

みなとまち館で知る神社港の歴史

みなとまち館は、在りし日の港町の文化を多彩な資料や民具、船具を通して伝えていきます。そして、1階には歴史書や山口文庫などの書類や写真、チラシなどが展示、収蔵されています。2階には大漁旗や船具、工具などが展示、収蔵されています。ぜひ、みなとまち館へ行ってみてください。

東照山清雲院の歴史

徳川家康の側室於奈津の方が家康公の没後、公の菩提を弔わんと、寛永7年の夏に山田吹上松原に建立した寺です。寛文の大火で類焼し、尾上妙見町に再建。再び焼失。明治6年再建されたが廃仏棄釈の厄にて廃寺されました。先々代住職大盛海順師の奔走の労報い大正4年、清雲院は中興されました。家康公と於奈津の像が安置されています。なので、ぜひおこしてください。

赤レンガの塩倉の歴史

昔この辺一体には塩田があって、明治38年に専売法が施行され、塩田は廃止になって塩専売所ができ赤レンガの塩倉は保管所でした。敷地の四隅にあった「大蔵省」【今の税務署】と彫られた境界石標が1本だけ残っています。神社港の赤レンガを見にきてください。



神社港の赤レンガを実際見にいきました。

月に一回第一日曜日に行ってみて！『辰の市』

三重県伊勢市神社港には月に1回第一日曜日に『辰の市』というちょっとしたおみせの商品を売ってくれます。場所は神社港の海の駅前です。そういうイベントをしているのは、港町再生グループの人がいい街を作ろうと開催しています。島重や色々な屋台があります。ちなみに私たちのおすすめは一番端っこで売っているととても美味しいお弁当です。特に卵焼きが美味しいです。他にも色々、あられや、野菜、納豆やお饅頭を売っています。皆さんも月に一回第一日曜日に『辰の市』にきてみてください！



看板に書いてあるようにここは海の駅です。港町再生グループというのがあります。

人気な行事『おんべだい』テレビに出るほど有名!?

三重県伊勢市神社港には、1年に1回『おんべだい』という行事が開催されます。その『おんべだい』では、神社港の辰組の子供木遣をします。だんだんと参加する人の数は、減ってきていますががんばってやってくれている人もいます。木遣をした後は餅まきをします。なので、木遣をした後でも楽しめます。その『おんべだい』はテレビに出るほどの人気な行事です。多くの人と知り合えるので『おんべだい』という行事はものすごく大事な行事だと思います。ぜひ、『おんべだい』にきてみてください。

誰もが残したくなる鷺が浜へ!!

鷺が浜という名になった理由は？

倭姫命が飲み水を飲んでいて命は住んでいた鷺取の翁に清水をもらって水覧社を定め、大変喜んでいました。そのため、この浜を鷺取小浜と名付けて、その後に鷺ヶ浜と呼ばれるようになりました。

鷺が浜にいる外来生物は、約何種類いるのかを聞いてみたら…

鷺が浜には、約3種類の外来生物がいるらしいです。その中で一番減らしたい外来生物はコマツヨイグサです。コマツヨイグサは、葉が柔らかくて、少しギザギザのものもあり、根がすごく太くて在来生物のいばしょを少なくする、無くしたい一番抜かなければいけない草です。そして鷺が浜で草抜きをしたらコマツヨイグサだけで36Kgほど取れました。外来生物の種類は少ないなと思いましたが、「鷺が浜は」と言っていたのでまだまだありそうです。皆さんもコマツヨイグサを見つけたら抜いておいてください。

コマツ
ヨイグサ



残していきたい在来種の生き物



- ・はまひるがお
- ・チガヤ
- ・はまぼうふう
- ・はまごう

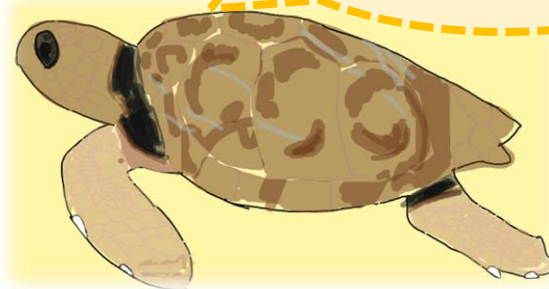
という在来種を私たちは残したいと思いました。皆さんもこの写真を見て、この在来種を残しましょう!!

地球温暖化と生き物

地球温暖化とは、大気中に含まれる「**温室効果ガス**」が大気中に放出され、地球全体の平均気温が上昇している現象のことです。気候変動により異常気象が頻発する恐れがあり、自然生態系や生活環境、農業などへの影響が懸念されています。温暖化が進むと生物種が3割も絶滅してしまいます。**アカウミガメ**はメスばかりになってしまい、貝が取れなくなってしまうです。

アカウミガメが卵を産む所を間違えた時の対処法は？

アカウミガメは年に2回卵を産みに来ることがあります。ところがゴミがあつたり、外来生物がいたりすると海の近くの危険な場所に卵を産み、流されることがあります。そんな危険な場所に卵を産むと安全な鳥羽水族館に移して保護します。なのでゴミを拾ったり、外来生物を抜いたりして**アカウミガメ**が安全に卵を産める環境にしましょう。



驚が浜を誰もが残したくなるようなことが 5個書いてあるよ。最後の草抜き体験のところまで見てね！！

アカウミガメ

草抜き体験をしたよ！！

私たちは草抜き体験をしました。みなと小の4年生は毎年この活動に参加させてもらっています。そこでみなさんに少しでも、**コマツヨイグサ**などを抜いてもらいたいと思っていて、抜かずにそのままにしておくと**コマツヨイグサ**などにより生き物が少なくなってしまう可能性があり、いろいろな浜辺に生えてしまうかもしれません。そして、カメなどの生き物が卵を産めなくなり、カメの数がどんどん減ってしまつて、**絶滅してしまう可能性**があります。なので、皆さんが**コマツヨイグサ**を抜いてくれれば、生き物も増えていくかもしれません。**どうか協力お願いします。**